

突然ですが、栃木市の水害被災者支援「きずなセット」を2月から開始しています。同時に栃木市内にFB事務所を新設、ということで今年はNPO法人設立、泉が丘サテライトの開所に加えさらに、台風で栃木市にも進出した、怒涛の変化でした。

台風の翌日、とちぎVネットで行われた緊急会議で情報を集約すると自分が想像していた何倍も大変なことになっているのだと知りました。結果「私たちは困窮者にお渡しする食品を地域の皆様から頂いている。ならば、今こそ被災した方々を助けるべきだ」と、炊き出しの実施を決めました。

それからは皆で一斉に電話をかけ協力者を募りました。「炊き出しできる場所はありますか」

FB通信

フードバンク通信⑦ -2020/2/15- //2019年1月15日創刊//

フードバンクうつのみや



NPO法人 フードバンクうつのみや

TEL028-622-0021 URL fbu.org

FAX/028-623-6036 栃木県宇都宮市埴田 2-5-1 共生ビル3階

栃木市で

フードバンク

「被災地FB」やっています!

●曾根裕弥 (フードバンクうつのみや・理事)



「食品を提供して」「お手伝いをお願いしたい」…今思えばすごいスピードで段取りが組まれていきました。企業も個人も団体も問わず、多くの方の協力を得ることができました。誰かのために頑張る人がこんなにもたくさんいるのかと、感動を覚えました。

被災者支援をサポートする助成金のアナウンスが、赤い羽根共同募金から届いたのは、それから間もなくしてのことでした。多くの地域の中で、私たちは7,942世帯の被害を出した栃木市の支援に注力することを決め、助成金を申請しました。

困窮していると予想される1,250世帯(世帯に相対的貧困率を掛けたもの)に向けての活動の中心となるのが「きずなセット」。一定量、一定の種類の食品を詰めたパッケージ500セットを作り、市内被災者や困窮者へ向けて配送するというものです。浸水した家の補修費、家具家電の買替え等予測できない困窮を生んだ水害。

頑張る人たちに私たちができること、やるべきことはやはり「食べもので応援する」ことだと思います。そしてセーフティネットとしてのFBを、より多くの人に知ってもらえる機会であるとも感じています。(曾根)

「古希にしているいろいろ迷いながらも、とりあえずボランティア」

廣澤敬行 (70)



県のシルバー大学校の授業でFBの活動内容を聞く機会がありました。以前から多少関心もあったこともあって、卒業後FBのボランティアをはじめました。週に1~2回、かれこれ1年3か月ほどになります。



※写真はイメージです。この人はもうすぐ喜寿です。

私の作業は寄付された食品の賞味期限や重量を記した伝票を作成し、貼り付けたあと棚に整理するもの。作業をしながら感じることは、寄付してくれた方々の温かい思い。一方で、「箱に少し傷がある」「消費期限が短い」などの理由で食品を廃棄してしまう業界の常識、それを見過ごしがちな社会の風潮、そして無償で提供される食品を糧として暮らす人たちがいることなど、世の矛盾のようなことも感じています。

古希にしているいろいろ迷いながらも、とりあえず今私にできること、ささやかなお手伝いを続けようと思っています。(廣澤)

今月のSOB

の一部

12月：24家族 (54回)

12/2 ● KM 男 58歳・11回支援・宇都宮。所持金200円。光熱水費も滞納し先週から止まった。10年前に**親の介護**で戻って来たが死亡しその後は独り暮らし。なかなか定職に就けない⇒4日分の食品支援。

12/4 ● KT 男 63歳・宇都宮。建築関係の仕事をして生活をしていたが、**心筋梗塞**で入院、仕事ができなくなり困窮。体は回復し仕事に復帰予定だが、生活が安定するまで食品ほしい。⇒食品5kg支援。

12/4 ● AK 男 53歳・5回支援・宇都宮。7月から車上生活。所持金230円のみ。脱サラして飲食を出店したが上手くいかず家のローンを滞納した。明日仕事の面接あるがダメなら生保申請したい。⇒食品4kg支援。

12/4 ● HR 男 50歳・宇都宮。妻(内縁)と息子(連れ子)の3人暮らし。妻が大動脈解離で高次脳機能障害になり介護が必要となった。介護退職し息子の収入(月収10万円)で生活をしてきたが破綻し生活保護を申請した。⇒米8kg食品5kg支援。

12/4 ● EZ 女 68歳・宇都宮。韓国籍の夫と2人暮らし。40歳の時に来日。夫、本人とも無年金。夫は糖尿病、肝疾患、腎疾患、精神疾患と**複数の病気**がある。本人(妻)も肺炎やリュウマチなどの疾患があり仕事ができない。借金を繰り返し生活していたが、社協の生活困窮者自立支援の窓口を通して生活保護を受給することになった。受給までの間食品を支援して欲しい。⇒米5kg食品4kg支援。

12/5 ● AB 女 48歳・宇都宮。4月に離婚をしてから**うつ病**がひどくなり仕事ができなくなった。生活保護も受け付けてもらえず、借金が増えた。一人でどうしたらいいのかわからなくて、市議に相談し、生保の再申請をした⇒米2kg食品2kg支援。

12/5 ● UG 男 32歳・2回支援・宇都宮。東京出身。知人宅で同居生活。仕事を解雇され、知人宅も追い出され、**路上生活**

となった。⇒食品2kg支援。

12/6 ● NZ 男 68歳・宇都宮。3年前に仕事を辞め、蓄えを取り崩して生活。狭心症、精神疾患、耳鳴、脳腫瘍疑い、肺がん疑いにて通院。**医療費**の支払いが嵩んできた。生活保護相談に行くも年金受給権を理由に断られた。⇒食品7kg支援。

12/6 ● SZ 男 69歳・宇都宮。解離性パーソナリティ障がい。通帳の管理をする息子は統合失調症を患っている。**息子から暴力**を受けていたので、それを避けるために転居した。その後地域包括支援センターの支援が入ったが、年金受給までの間食品を支援して欲しい。⇒食品4kg支援。

12/11 ● YM 男 61歳・宇都宮。タクシーの運転手をしていたが40代のころ脳梗塞を起こし入院。ほぼ完治するも再発の恐怖を感じ退職、**低所得**の仕事に就いた。3年前からヘルニアにかかり仕事ができなくなり困窮。生活保護を受給することになった。受給までの間食品を支援して欲しい。⇒米5kgカップ麺2個支援。

12/17 ● SK 女 53歳・宇都宮。**人間関係が苦手**で定職に就くことができず困窮。職場と住む場所を転々としている。宇都宮市へ活路を求めて市役所へ相談。宮ハローワークで住み込みの面接を受けるこ

とになった。つなぎの食品を支援して欲しい。⇒冷凍パン2食分支援。

12/19 ● KT 男 35歳・6回支援・宇都宮。10年前から病気により仕事ができなくなった。その後一旦回復するが5年前からまた悪化。どうにもできなくなり、生活保護を申請。受給までの間食品を支援して欲しい。⇒調理不要な食品4kg支援。

12/24 ● HS 男 49歳・宇都宮。2週間前に退職。会社の寮を出たため**野宿生活**をしている。本日ハローワーク紹介の会社面接予定。⇒冷凍パン2個・2日分の食品支援。

12/24 ● OK 男 24歳・4回支援・宇都宮。失業中。**仕事が長続きしない。**実家に独り住まい。両親は別々に新しいパートナーと暮らしている。ライフライン止まった。⇒カップ麺など2日分程度の食品支援。

12/25 ● KT 男 24歳・宇都宮。3日間何も食べていない。窃盗により2ヶ月間の拘留刑を受け**出所**してきた。住所が定まらない。社協の自立支援相談窓口を紹介。⇒冷凍パン2個、飲み物提供。

12/26 ● SM 女 50歳・宇都宮。障害年金とアルバイトで生活していたが、**うつ悪化**のため辞めた。戸籍上は男性。主治医の意見次第で精神科病院に入院するかも。生活保護はいつでも申請できるようにしてある。⇒簡単に調理できる物を用意したが、調理する気力が無いのでやっぱり要らない。

12/26 ● SW 女 69歳・2回支援・宇都宮。アルコール依存、腰痛、貧血を持ってい

FBでたすかりました

「絶望的な状態でしたが、

生きていけると思うようになりました」

前田なつ子さん (55)



一人暮らしです。体調不良で半年前から仕事ができなくなりました。乳がんと内臓の病気でした。まず乳がんの手術を受け、その治療で貯金がなくなり困窮しました。生活保護の申請をしたら、失業保険をがけると判り、「すぐには生保は受けられない」とのことでした。

社会福祉協議会からFBを紹介され、食品の他に、無料低額診療の病院を紹介してもらい、ワラにもすがる思いで病院へ。治療も受けられ、絶望的な状態でしたが、生きていけると思うようになりました。

大槻誠さん（仮名 50代男性）は、昨年12月初めフードバンクを尋ねてきた。所持金200円。料金未納でライフラインの電気、ガス、水道すべて止まり、市役所生活保護で相談したところ、ハローワークを紹介され就労してお金を得よう促された。当然ながら食品も買えないので、調理不要な食品を求めてきた。

20年前に母親の介護のため、大手電機メーカーの営業職を辞めて実家に戻り、10年間、母親を介護し看取った。その後の10年間は一人暮らし。なかなか定職に就くことができなかった。つまりこの20年間はアルバイト程度の臨時的な収入で暮らしてきたことになる。

最初の利用から10日後に来たときは、「家にあるものをリサイクルショップに売って電気、水道料金を支払った」と。ガス代は「ほぼ調理しないので支払わない」と。



小澤勇治 ● 本会職員

心臓疾患で入院歴があるため、医療費の相談できる（無料低額診療事業*）医療機関を紹介。メディカルソーシャルワーカーへ依頼し診療・受診が可能となった。

この間3週間ハローワークへ通い、年末

＜無料低額診療所＞低所得者などに医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業。栃木県には3か所ある（すべて宇都宮市/宇都宮協立診療所・生協ふたば診療所・済生会宇都宮病院）。

SOS その後

FB利用3か月11回 生保ゲット奮闘記

大槻 誠さん（仮名 50代）

親の介護、定職つけず、
ライフライン停止、心臓疾患…。

にやっと清掃業務の仕事が見つかった。午前中の仕事で、年内3日間就労できたが、初回の給与は年が明けた2月末。働いても12月から3か月間は未収入の期間が続いてしまう。また、その仕事だけでは生活が厳しいので、午後からの仕事（ダブルワーク）も勧めたいが、持病を抱えているのでそうもいかない。

最初に話をした時から、生活保護の利用には納得しなかった。そこで大槻さんの奮闘の順にしたがい「権利としての生活保護」を説明していった。①持ち家（亡母親名義）であっても利用可能であること。相続の話。②年金事務所にて将来の年金受給

見込み額の確認。③もらえる給与の額が保護基準に満たない額。生保利用中でも就労可（勤労控除の話）。などなど。フードバンクに来る度、1つひとつ確認を行った。

先日「生活保護の申請を受理していただきました」と話し最後の食品支援を受けていった。今日も朝の清掃の仕事に出かけている。12月から2月末まで計11回フードバンクを利用することになった大槻さん。生活保護利用できるまでの3か月間の物語でした。

る。普通の生活ができず、家の中がごみ屋敷状態。家賃滞納のため大家からの苦情で存在が発覚し、地域包括支援センターの支援が入った。⇒食品3kg支援。

12/26 ● ST 女 50歳・宇都宮。離婚した元夫と長男（13歳）の3人暮らし。元夫から中学生の長男に対する**暴力**のため家を出たいが無職のため住居が定まらない。社協が相談に入る。⇒米10kg食品14kg支援。

12/27 ● TK 男 13歳・4回支援・宇都宮。離婚しているが、実母・実父と3人暮らし。所持金60円。触法少年で児童相談所がかかわる。母子間の関係は良好。実父は家賃と光熱水費を支払っているのみ。食費や学費等は母親の負担だが失業状態で収入ない。⇒米10kg食品18kg支援。

1月：30家族（44回）

1/7 ● SD 男 70歳・2回支援・宇都宮。妻と2人暮らし。共に病気。高齢で仕事が出来ない。**借金を支払い困窮**。家賃滞納分の返済もあり、年金と生活保護費だけでは生活出来ない。⇒米5kg食品4kg支援

1/7 ● HK 男 51歳・宇都宮。膀胱がんで仕

事が出来ず、退職し困窮。会社の寮は退職に伴い退去。⇒5kg食品4kg支援。

1/7 ● HS 男 66歳・宇都宮。40歳代でリストラにあい、仕事が無い。年金使い込んで**自己破産**した。⇒米10kg食品支援。面接し、3日に一度の仕事を得た。

1/10 ● ON 女 57歳・宇都宮。娘（29歳）と2人暮らし。登録派遣社員として工場勤務。同居の**娘が病弱**で働けておらず生活が苦しい。車が故障し修理費用が高額で手持ち金が無くなった。⇒米5kg食品8kg支援。

1/14 ● NK 男 54歳・3回支援・宇都宮。母親の年金で2人暮らしをしていたが、母が死亡。**母の遺体を放置**してしまい、死体遺棄の容疑で逮捕される。11月釈放、その後新聞記者が取材する。生活費が全く無くなり年末年始は記者の差し入れで生活。⇒米5kg食品4kg支援。

1/15 ● MR 男 49歳・3回支援・宇都宮。覚醒剤にて2年半の懲役から**出所**してきた。近隣住民から逃れるためアパートを探している。無職にて収入無し。福祉に係わる仕事をしたい。⇒米2kg食品2kg支援。

1/15 ● OG 男 24歳・2回支援・県央。仕事中に交通事故。労災にて治療するが休業補償分が支給されずいたため以前の会社を辞めた。ハローワーク紹介の新しい仕事に就いたが初回給与までお金が無い。家賃滞納3ヶ月目。⇒米5kg食品5kg配送。

1/15 ● TK 男 56歳・宇都宮。タクシー運転手をしていたが**交通事故**に遭い、働けず生活保護利用となる。転居先の契約までの間車上生活をしている。⇒食品3kg支援。

1/16 ● IG 女 20歳・3回支援・宇都宮。**妊娠8ヶ月**にて現在就労できない状況と。育児休業含めて1年間の休業予定。障害者雇用サポートの支援を受けている。生活保護の利用予定。⇒食品6kg支援。

1/15 ● KM 男 48歳・県内。実家を出てから、**車上生活を10年**続けている。親兄弟とも絶縁状態。代行の仕事が激減して困窮。副業したいが、面接に行く服がない。⇒調理不要な食品3kg支援。

1/22 ● HC 男 47歳・2回支援・宇都宮。**無料低額宿泊所**利用中。食事等の対応が悪いと思っている。人権侵害だと訴えたい。⇒冷凍パン数個提供。

1/23 ● HR 女 63 歳・ 県央。介護の仕事をしてきたが体調崩し、4 月より失業。アルバイトと貯蓄で生活。2 月より午前中の仕事が決まったが生活費には不足。⇒米 3 kg 食品 6 kg 支援。

1/24 ● HN 女 77 歳・ 宇都宮。スナック経営。1 年前に大腸癌発症、手術した。店を閉めていたため家賃等借金となる。個人年金(年額 150 万円程)を生活費としており、**生保基準を上回る**。所持金 3,000 円。⇒米 3 kg 食品 6 kg 支援。

1/24 ● KW 男 50 歳・ 宇都宮。**金銭管理ができず**困窮。生活保護受給中。1 月分の支給が 12 月末の支給のためお金が持たなくなった。⇒米 3 kg 食品 2 kg 支援。

1/28 ● KB 男 54 歳・ 宇都宮。1 週間前に 2 万円入った**財布を落とし**生活費が無くなった。警察署へ相談したがお金は出てこない。⇒米 2 kg 食品 2 kg 支援。

1/29 ● WT 女 71 歳・ 宇都宮。介護の仕事をしてきたが、年齢で**契約更新できず**失業。腰痛があるため介護の仕事は継続できない。仕事を探すが見つからない。⇒米 3 kg 食品 2 kg 支援

1/29 ● KM 女 58 歳・ 宇都宮。夫が糖尿病、本人(妻)はめまいと股関節の病気により生活保護を受給中。**お金を落として**困窮。次の支給日までの間食品を支援して欲しい。⇒米 3 kg 食品 3 kg 支援。

1/30 ● ST 女 34 歳・ 宇都宮。本人**身障**

1 級。無職、無収入のため社協が支援に入る。昨年内縁の夫が死亡。先天性疾患にて手術。⇒米 5 kg 食品 3 kg 飲み物支援。

1/30 ● SN 男 48 歳・ 宇都宮。1 週間前に派遣先の契約が切れ失業。所持金 10 円。尚徳有隣会に FB を紹介された。生活保護の申請に行きたい。⇒米 3 kg 食品 1 kg 支援。

1/30 ● KW 男 27 歳・ 宇都宮。昨年 8 月に母親が死亡。独居となり**金銭管理が難しく**なった。住まいは、市営住宅のため居住できなくなった。療育手帳、精神保健福祉手帳所持。障害福祉課の支援でグループホーム入居を準備中。障害年金と生活保護利用。グループホーム支援員が同行。⇒米 3 kg 食品 4 kg 支援。

台風 19 号被災者支援

「きずなセット」大募集

米だけ、寄付だけ、おかずだけでも OK。
内容例) 米 3kg、レトルト、缶詰各 3 個ずつ
+カンパ 500 円

床上浸水は床・壁の修理費で少なくとも 300 ~ 500 万円かかります。低年金の高齢者宅では直す費用もなく困窮しています。困窮世帯へ食品を支援することで家計の応援をします。

●FB うつのみやへ(持参、郵送)お送りください。



きずなセットの協力団体 更生保護法人栃木明德会 (栃木市)

栃木市できずなセットを展開するには、短期間ですが現地での作業場兼倉庫が必要となります。物件を探していたところ快く敷地内の倉庫をお借りすることができました。

おかげさまでスムーズに拠点を構えることができました。

今のところ 4 月一杯、

火曜日と土曜日にここで作業することになります。



FB ボランティア募集

● 問 /028-622-0021 (とちぎ V ネット)

・食品管理ボランティア

入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備したりします。週に 1 日か 2 日、2 時間から 4 時間ぐらいが目安です。

・困窮者聞き取りボランティア

フードバンクに「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1 回 2 時間、週 1・2 回程度でできる人。

・パソコン入力ボランティア

食品の入出庫の記録をパソコンに入力。週 4 時間程度の仕事量です。



スタッフジャンパー完成!

●ホームページ



開設しました。
ブログ更新中!

●Twitter



毎日更新中!
フォローよろしく!



NPO 法人 フードバンク うつのみや 会員募集

支持会員 12,000 円、賛助会員 3,000 円、
団体会員 30,000 円です。